

# 「巨木文化」語る

## 青森で北東アジアシンポジウム



長部氏の講演に聞き入るシンポジウム参加者

「巨木文化と北東アジア」をテーマにした北東アジア交流プロジェクト・青森シンポジウムが十四日、青森市文化会館で開かれた。

弘前市出身の作家・長部日出雄氏が「縄文の巨木文化」と題して基調講演。国際日本文化研究センター共同研究員（民俗学）の萩原秀三郎氏が中国、朝鮮半島、ロシアの柱信仰を、自身の撮影したスライドで紹介した。

これを基に、長部氏、萩原氏、国立民族学博物館名誉教授の小山修三氏が、巨木文化から見えてくる日本と北東アジアの精神文化の共通点・相違点などについて（へてい）談を行った。

シンポジウムは、東奥日報社など日本海沿岸の地方紙十社、十一府県、各府県の商工会議所連合会で組織する北東アジア交流海道二〇〇〇キロ実行委員会が、環日本海交流の促進を目的とする三年間のプロジェクトの一環として開催。トヨタ自動車、東北電力が協賛した。



北東アジア・10紙企商  
交流海道2000キロ